

評価結果の政策への反映状況報告書

令和5年3月9日

政策の名称	政策の目的・目標	政策評価の結果の概要	政策評価の結果の政策への反映状況
<p>正倉院宝物再現模造 全国巡回事業（事業 評価）</p>	<p>正倉院宝物を忠実に再現した「再現模造」を2年間で全国8か所の会場で展示することにより、日本文化の伝統を継承することの重要性とその意義について紹介するとともに理解の向上を図る。</p>	<p>（必要性） 全国7か所（8か所のうち1か所は令和4年度に延期）の展示会場には、合わせて約16万5千人もの来場者があった。 来場者のアンケート結果によると、その多くが、これまで正倉院宝物に興味があったものの、実物を見たことはなかったと回答しており、このことから本事業が必要性の高いものであったと言える。</p> <p>（有効性） 来場者のアンケート結果によると、展覧会の満足度において、9割を超える回答が肯定的であり、また、学識経験者からも、本展が日本の伝統技術を継承することの意義を確認する良い場となったとの評価を得ている。</p> <p>（効率性） 本事業において当庁は、「再現模造」の提供等を行ったが、会場の運営や広報については、会場である博物館等や主催者である報道機関が実施しており、当庁としては費用負担を行わずに十分な成果を挙げている。</p> <p>（今後の課題） 今後の展示においては、若年層も理解が容易な展示方法を検討する。 また、「再現模造」製作について、国内外に向けて広く発信していく必要があることから、当庁ホームページでの発信強化について検討する。</p>	<p>現時点で次回展覧会の具体的な予定はないものの、次に行く場合に向け、若年層にも理解が容易な解説や展示方法、具体的には視覚に訴えた解説等を目指し、現在製作中の再現模造品の製作過程を映像や写真に収め、詳細な記録の作成に取り組んでいる。 また、「再現模造」製作を国内外に向けて発信する取り組みの端緒として、正倉院事務所ホームページ上に「模造事業」のページを新設し、模造事業の一覧とともに、再現模造品の楽器を実際に演奏した際の音源を公開した。</p>